令和５年１２月

やなぎばし

世界中の子どもたちにサンタクロースを

今年の夏は記録的暑さとなり、つい数週間前までは夏の延長といった気候となっていましたが、今ではそんなことを忘れるくらいのいつもと変わらない冬の寒さを感じます。個人的には、過ごしやすい秋の気候を十分に楽しむ間もなく過ぎてしまったことが少し残念です。私たちの体も、この急激な気温の変化への対応に疲れていることでしょう。あたたかい栄養のある食事をしっかり摂り、十分な睡眠を取るように心がけていただきたいと思います。

さて、街中ではイルミネーションや飾りつけなどが華やかになり、すっかりクリスマスムード一色になっています。そして、クリスマスといえば、まずサンタクロースを思い浮かべる方も多いのではないでしょうか。赤い服に白いひげを生やし、クリスマスイブにトナカイのそりに乗って子どもたちにプレゼントを配って回るというサンタクロース伝説。その伝説は、1500 年くらい前に実際に存在した聖人がモデルといわれています。その聖人は、不幸な人々を助けるために様々な奇蹟を起こす庶民の味方として親しまれていました。貧困のために 3 人の娘を身売りしようとした家族の家の煙突から金貨を投げ入れ、その金貨が暖炉に下げてあった靴下に入ったという話が、今につながっているそうです。

子どもたちは、そんなサンタクロースがやってくるのを待ち望んでいることと思いますが、世界に目を向けてみると、温かいクリスマスを迎えるどころではない現状があります。ウクライナやパレスチナといった戦地に身を置かざるを得ない子どもたちが、戦闘機やロケット弾、兵士たちの恐怖に怯えている様子、大けがを負ってぐったりしている様子を目にします。いつの時代も、大人同士が引き起こす戦争に巻き込まれ犠牲になるのは、弱い立場の子どもたちです。日本から遠く離れているといっても、普段接している柳橋小の子どもたちと同じくらいの子どもたちが、恐怖で泣き叫ぶ声や痛みに苦しんでいる姿には、とても胸が痛みます。たとえ住んでいる国や人種が違っても、子どもたちに一番似合うのは笑顔です。その笑顔を奪ってしまう戦争が、一刻も早くこの地球上から無くなることを願ってやみません。

今年は、無事にクリスマスを過ごせることに感謝しつつ、世界のどこかで悲しんでいる子どもたちに少し思いを馳せる日にしてはいかがでしょうか。来年こそは、世界中の子どもたちに喜びと幸せを運ぶサンタクロースが訪れますように…

教頭　石塚 貢

大和市立
柳橋小学校
YANAGIBASHI ELEMENTARY SCHOOL
〒242-0022 大和市柳橋 1-17-7　046（263）4401
URL:http://www.ed2.city.yamato.kanagawa.jp/s-yana/